

# 美郷町小学校体育連盟



東臼杵郡小学校体育連盟

## 研究主題

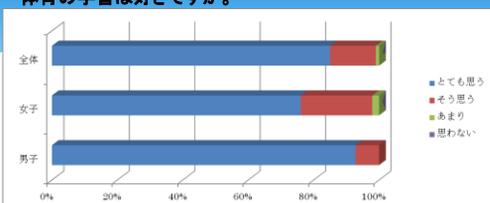
健やかな心と体をはぐくみ、  
生涯にわたって運動に親しむ資質  
や能力の基礎を育てる体育科学学習

～ゲーム・ボール運動の指導を通して～

美郷町小体連 体育科学学習に関するアンケート結果(平成26年2月実施)

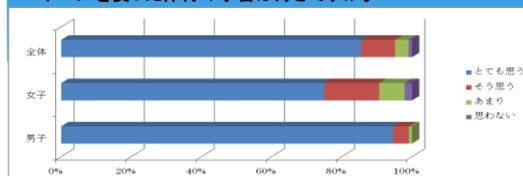
回答人数 美郷町小学生 男子111名 女子96名

### 体育の学習は好きですか。



	とても思う	そう思う	あまり	思わない
男子	93%	7%	0%	0%
女子	76%	22%	2%	0%
全体	85%	14%	1%	0%

### ボールを使った体育の学習は好きですか。



	とても思う	そう思う	あまり	思わない
男子	95%	5%	0%	0%
女子	75%	16%	7%	2%
全体	86%	10%	4%	1%

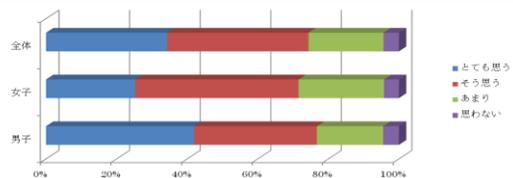
### ボールを使った体育の学習について(記述の一部)

とても好き 好き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい 投げたり蹴ったりするのが好き</li> <li>・得意な種目、好きな種目がある</li> <li>・体を動かすことが好き</li> <li>・点が入るとうれしい</li> <li>・みんなでするのが楽しい</li> <li>・チームのみんなが応援してくれる</li> </ul>
あまり まったく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを投げるのが苦手</li> <li>・キャッチが苦手でボールがこわい</li> <li>・寒い日にボールが当たると痛い</li> <li>・ボールにあまり触れない</li> <li>・けががこわい</li> </ul>

### ボールを使った体育の学習で困っていること(記述のすべて)

男子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とぶつかる</li> </ul>
女子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のボールが強い</li> <li>・ボールを上手にけつたりうったりできない</li> <li>・ボールが怖い</li> <li>・パスが繋がらない</li> <li>・習っている子が上手なので、差がある</li> <li>・ドッジボールがしたい(人数が少ないのでできない)</li> <li>・キャッチや投げるのが苦手</li> <li>・ボールがときどき当たる</li> </ul>

体育の学習で作戦を話し合ったりアドバイスをし合ったりすることを自分から進んでしていますか。



	とても思う	そう思う	あまり	思わない
男子	42%	35%	19%	4%
女子	25%	46%	24%	4%
全体	34%	40%	21%	4%

### 目指す児童像

進んで運動に取り組み、仲間とともに、運動を楽しみながら体力を高めようとする子ども

### 研究主題

健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習  
～ゲーム・ボール運動の指導を通して～

### 研究仮説

小規模校(少人数)において、体育科学習におけるゲーム・ボール運動領域の指導方法の工夫改善を行えば、児童の体力が総合的に高まり、健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習となるであろう。

### 研究内容

体育科学習におけるゲーム・ボール運動領域の指導方法の工夫改善について

- (1) 学び合いの充実
  - ・小集団における「わかる」「かかわる」に視点をおいた指導の工夫
- (2) 技能を高めるための手立て
  - ・運動教材や場の工夫を通して「できる」に視点をおいた運動量の確保と基礎的な動きの習得

### フラッグフットボールの実践

小集団における学び合いの深まりとボール運動の技能を高める3つのステップ学習

#### ステップ1

基本的なボール操作やボールを受けるための技能を身に付けよう。

#### ステップ2

チームの特徴を考えて作戦を立て、ゲームを楽しもう。

#### ステップ3

ルールを工夫して、フラッグフットボール大会をしよう。

「わかる」「できる」「かかわる」を視点に指導

### ① <わかる>

作戦カードを使って作戦を立て、選ぶ学び合いの充実



### ② <できる>

運動量の確保と基礎的な動きを習得するための運動教材の工夫



### ③ <かかわる>

付箋を使ったチーム内での  
アドバイスの共有による  
児童相互の関わり合いの充実



### 授業の様子



### 研究の成果

- 「わかる」「できる」「かかわる」に視点を置いた指導方法の改善に取り組んだことで、児童がいきいきと楽しく活動することができた。
- 五種目歩走やボールトレーニングを行うことで、運動量の確保ができた。
- 体育科学習で扱ったタグラグビーやティーボールなどを、児童が昼休みに進んで行い、遊び楽しむ姿が見られるようになった。
- ボール運動を苦手としていた児童も意欲的に学習に取り組むようになった。

### 課題

- 授業報告会や体育学習研修会を設定して、研究内容を多くの先生方に共有してもらい必要がある。
- 他の領域でも、研究を広げながら、体育科学習の充実を図る必要がある。



ご清聴ありがとうございました。